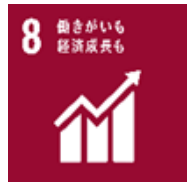


部局名

教育学部

担当： 准教授 大矢英世  
教授 湯地敏史



テーマ

学生を中心とした産・産・学・金連携における新たなスイーツ開発



白木耳のに入った大福  
(白華大福)

【特色】

令和3年から宮崎大学では、産×産×学×金プロジェクトとして、きくらげ堂(西都市)及びお菓子の日高(宮崎市)、宮崎大学教育学部 学生(中学校 技術・家庭科の教員志望)、宮崎第一信用金庫(宮崎市)による白木耳(しろきくらげ)を使った新たな和菓子開発をスタート

教育学部の学生(3年生と4年生)は、中学校の技術・家庭科で学んだものづくりへの製品設計及び開発と消費生活や食(栄養と調理)などの知識を製品開発へ活かすことで、今回の製品開発へ至った。



お菓子の日高



宮崎大学  
教育学部

きくらげ堂



Supported by 宮崎第一信用金庫

【組織図】

【開発製品】

お菓子の日高の名物、“なんじゃこりや大福”に続く、白木耳を使った第2弾の新しいヒット商品を目指した美と健康を意識した大福(名称:白華大福)の開発。地産地消における地元の珍しい食材を使い、新たな食感のスイーツ開発を手がけました。白木耳は、ビタミンも多く含んでおり、美や健康促進にも欠かせない成分を多く含んでいる。特に、宮崎産白木耳は、農薬等を使用せず、形状も大きな新たな農産物として期待されている。販路拡大や販売計画においては、宮崎第一信用金庫の協力を得てプロジェクトを進行中。

実際の白木耳

発売日: 令和4年1月22日～  
お菓子の日高(JR宮崎駅店)にて  
※個数限定販売